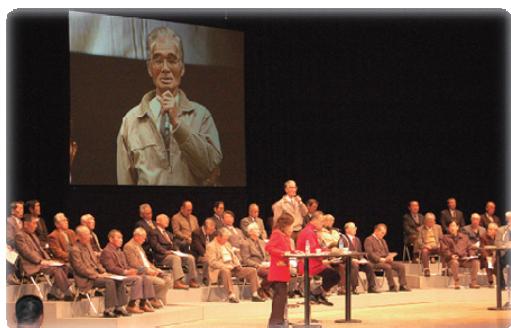


第3章

いなみ野ため池ミュージアム



1. ミュージアムへ

ため池ミュージアム関連年表

年月		出来事
1998	4月	兵庫県ため池整備構想公表
2001	2月	東播磨南部地域ため池保全・整備検討委員会設置
		第二回（8月）及び第三回委員会（12月）、ため池の問題点・整備方針を市町村別に検討
2002	4月	東播磨ウォーターフロントミュージアム推進実行委員会設置 ⇒ 東播磨南部地域ため池保全・整備検討委員会を発展的解消
	6月	第二回委員会、実行委員会及び同幹事会の名称を「いなみ野ため池ミュージアム推進実行委員会」「いなみ野ため池ミュージアム推進実行委員会幹事会」に変更
	7月	いなみ野ため池ミュージアム基本計画検討委員会設置 ⇒ いなみ野ため池ミュージアム創設プロジェクト推進基本計画（案）作成 客員キュレーター、インストラクター設置要綱の体系化
2003	8月	いなみ野ため池ミュージアム推進委員会設置
2007	7月	いなみ野ため池ミュージアム運営協議会発足

(1) いなみ野ため池ミュージアムへの動き

2000 年、加古川流域の将来像を描いた「東播磨地域ビジョン」が示されました。そして東播磨県民局再編時の 2001 年、そのビジョンを具体化するための行動計画「東播磨地域ビジョン推進プログラム（県民行動プログラム、及び行政推進プログラム）」に東播磨南部地域のこれから将来像を示す「ウォーターフロントミュージアム構想」が提案されました。

東播磨地域ビジョン

その策定にあたり、行政も地域の一員として参画し、公募で選ばれたビジョン委員とともに「東播磨地域夢 21 委員会」において議論・検討しました。

このビジョンでは、2010 年の東播磨地域における地域づくりの指針とし『水と緑を守り、活かし、伝える』をテーマとして掲げ、「いなみ野」の独特な景観を形成するため池や水路などの水辺空間の保全に焦点があてられています。

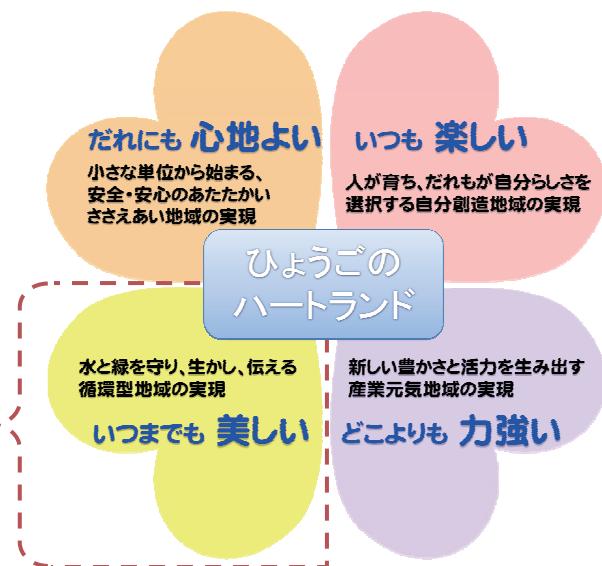
「東播磨地域ビジョン」と「いなみ野ため池ミュージアム」

2001年4月、それまで7市10町で構成されていた東播磨地域は、北播磨地域（4市8町）と東播磨地域（3市2町）からなるエリアへと再編されました。新しく編成された東播磨地域では、「東播磨地域夢21委員会」により取りまとめられた「東播磨地域ビジョン（概要版）“ひょうごのハートランド”をめざして」を基軸とし、東播磨地域での推進方策が検討されました。

検討の結果、ビジョンを実現する行動計画を示したのが「東播磨地域ビジョン推進プログラム」です。これは「県民行動プログラム」と「行政推進プログラム」によって構成されています。その一つである行政推進プログラムにおいて、東播磨南部地域の特色ある「ため池」に着目した「東播磨ウォーターフロントミュージアム構想」が提案されました。その後、核となる事業として“ため池群と水路網”をテーマとした新たな地域づくり「いなみ野ため池ミュージアム創設プロジェクト」へと展開されていきます。



東播磨の財産である水辺空間
(川、ため池、海岸など) を
用いた地域づくり／「美しい
東播磨」づくりの推進



(2) いなみ野ため池ミュージアム創設プロジェクト

東播磨地域ビジョンで示された考え方を継承し、さらに具体的な動きを進めるため、2002年、兵庫県と東播磨地域3市2町で構成する「東播磨ウォーターフロントミュージアム推進実行委員会」が設置されました。

その第一回委員会（4月12日）で、「ウォーターフロントミュージアム」が目指すところを鮮明にするため、名称を再検討することになりました。

第二回委員会（6月5日）において、本プロジェクトが「ため池」を中心に展開されるものであることが確認され、実行委員会及び同幹事会の名称を「いなみ野ため池ミュージアム推進実行委員会」と改称することが決定されました。

「いなみ野ため池ミュージアム」の具体的な活動展開の指針を定めることを目的として「いなみ野ため池ミュージアム基本計画検討委員会」が「いなみ野ため池ミュージアム推進実行委員会」のもと設置（同年7月18日）されました。基本計画検討委員会は外部有識者によって構成されています。

また基本計画は、ただこの2つの委員会によって決定されたものではありません。東播磨全域でリレーフォーラムを展開し、ため池管理者、地域住民、地域団体、NPO、ビジョン委員会などから出される意見や提言が盛り込まれています。様々な意見・提言を集約し、「基本計画検討委員会」での助言・指導を踏まえ、プロジェクトの展開方向を示す『いなみ野ため池ミュージアム創設プロジェクト推進基本計画（案）』としてとりまとめられることとなりました。

プロジェクト推進基本計画（案）冊子表紙

